

公 述 申 込 書

事案番号：平27第5015号

事案の種類：一般乗用旅客自動車運送事業に係わる特定地域の指定について

指定する地域：大阪市域交通圏

公述する者：うらきやま みねとし 浦木山 峰壽

携帯電話

職業：役員

生年月日： 65歳

住所：

名称：ことぶき 壽 タクシー株式会社

会社電話番号：06-6781-9000

代表者：代表取締役 浦木山峰壽

住所：大阪府東大阪市川俣1丁目19番30号

事案に対する賛否：反対

利害関係：壽タクシー株式会社は、営業車を減車出来ない。

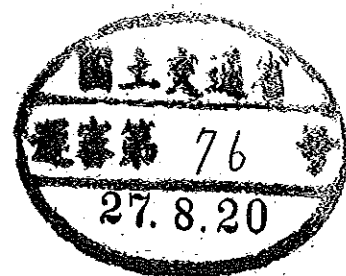
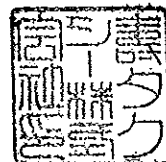
乗務員と車両のバランスが現在良い状態である。

減車すれば復活増車は出来ない。

減車すれば乗務員の勤務する日数が減り、収入の低下になり、会社の収益が損なわれ、会社の経営に影響が出て、赤字会社にはならない。

減車をすれば、現在の運転手では車両不足に陥り、従業員を減らす事が必要になり、退職者を求めなければならない。

壽タクシーは、定年、定年後も安心して就労できる職場を奪いとる者達へ屈する事は、断じて応じない。



公 述 書

事案番号：平27第5015号

事案の種類：一般乗用旅客自動車運送事業に係わる特定地域の指定について

指定する地域：大阪市域交通圏

公述する者：^{ことぶき} 壽 タクシー株式会社 代表取締役 ^{うらきやま} 浦木山 ^{みねとし} 峰壽



事案に対する賛否：反対

- ① 特定地域の指定、特定地域での減車には賛成できない、減車するならば、減車したい会社がすればよい、減車する会社が減車するから、他社も同じく減車を持ちかけるのは不合理^{はなは}甚だしい、
- ② 憲法で営業の自由は認められています、憲法を^{ないがしろ}蔑にして、多数決は正しいと主張する方々には、ついていけません、
皆さん、常識のある人々が、正しい論理で話し合わなければなりません、
自由民主主義経済の日本で、自由に仕事ができる、自由に経営が出来る、
これが素晴らしい自由主義経済の国なのです、
- ③ 減車をしたがる会社は、^{どうして}如何して営業車が余っているのでしょうか、
増車出来る時に将来の計画をしっかりと立てず、無造作に増やした結果でしょう、
減車、減車と煽り、以前の自主減車時に減車していない会社には、その時の台数を加えて減車させると言い放っています、
- ④ 憲法を無視した減車を強調するよりも、運輸局に減車はするが、必要な時期に復活増車が出来るように現実化すべきでしょう、そうすれば現在、不必要な経費が節約でき、会社の負担が軽減される。
- ⑤ 減車推進者が唱える、減車は何%を考えているのか数字を出しなさい、
減車推進者が10%、20%を言うが、会社にある遊休車、埃を被った車を減車しても、街中のタクシーは減らない、どうしたら街中のタクシーが減るのか数字を出さなくてはならない、正確な予測数字も出せないなら、いい加減な説明をし

ているだけだ、

減車したら、どれだけ運転手に収入が増えるのか、私は運転手が収入増えるとは思えない、

運転手の解雇に及ぶ事はないのか、もし、運転手の解雇に及べば、解雇された人達には、次の就職先が見つかるのか、

日本国民は幸せを追求する権利を憲法で認められている、

人は働き収入を得て健全な生活を営み税金を納付します、

減車して、労働条件の改善を言いますが、何が改善になるのか、

営業収入の増加、街中のタクシーが減らないならば営業収入が増えますか、

近機運輸局の方が、「1億円を100人で割ると1人100万円だけど、50人で割れば200万円になるわけですから」

運転手の削減を考えていないのか、

- ⑥ 壽タクシー株式会社は、営業車を減車出来ない、減車をすれば、現在の運転手では車両不足に陥り、従業員を減らす事が必要になり、退職者を求めなければならない、働く人を離職させたくない、働く人の幸せを無くす事は出来ない、壽タクシーは、定年、定年後も安心して就労できる職場、それを奪いとる者達へ屈する事は、断じて応じない。
- ⑦ 減車すれば乗務員の勤務する日数が減り、収入の低下になり、会社の収益が損なわれ、会社の経営に影響が出て、赤字会社にはならない。
経営不振の会社に移行すれば、誰がその会社に援助してくれるのか、
- ⑧ 業界の活性化について、タクシーが閑なのは景気が悪いのが影響している、減車、減車と言って減車したから会社が儲かるのか、不必要な営業車を無くして、その会社が儲かるなら、早い内にそれぞれの会社が競って減車すれば余分な経費が節約できたのだから、何を躊躇していたかは、その会社の都合があったのか、儲からない会社が、どうしたら儲かるのか、教えて欲しいと言っても、教えてくれるところがありますか、皆それぞれに努力して頑張っている、飲酒運転は罰則が厳しいから、タクシーを利用するように宣伝する、高齢者が増える中、高齢者に利用してもらえるタクシーに、

乗り合いタクシーを実現化へ

現在は、公共鉄道が延伸しているので、近くの乗客を大切にする、

乗車回数で売上を伸ばすように考える、

他にも、いろいろあります、

憲法違反の減車を言うより、規制を緩和して、儲け安い、経費節減が自由自在に

できる業界にすべきです、

働く人たちが、タクシーは良いなど実感できる環境にしたい、

